

第29回日本獣医がん学会腫瘍科認定医委員会 議事録

【日時】2025年1月20日（月）20：00～

【場所】Zoomにて開催

【議長】皆上

【書記】林 五十嵐 廣瀬 池田

【出席者（順不同、敬称略）】

田川 中川 安 佐藤（恵） 成田 伊藤（秀） 廣瀬 奥 高梨 中川 竹村 島袋
塚田 小林 秋吉 小山田 斎藤 伊藤（哲） 杉山 古川 諏訪 高木 皆上
佐々木 三宅 佐藤（敏） 武信 水野 五十嵐 細谷 中島 遠藤 村上（33名）

報告事項

(1)2024年度獣医腫瘍科認定医合格者について

- ・Ⅱ種試験結果

資料1についての報告（古川）

地雷問題の不合格者：合格点に至った者55名中、2名が地雷問題で不合格（古川）

Ⅱ種受験者は年々増加し、今回は過去最高であった。昨年、一昨年は地雷問題での不合格者が多数存在したが、地雷問題を択一としコアな問題としたことが今回の結果になった（皆上）

- ・Ⅰ種一次試験結果

資料1についての報告（堀）

昨年は受験者40名であったので今回は減少。合格率はやや高い。（皆上）

地雷問題による不合格者はなし（堀）

- ・Ⅰ種二次試験結果

資料1についての報告（皆上）

審議事項

(1) 認定医2種試験問題形式の変更について（古川）

第12回認定医2種試験より8教科それぞれ5択5問、穴埋め5問に変更

穴埋め問題は問題作成、採点業務に多大な時間がかかるため、全ての教科で5択問題への変更。問題数の40問から50問への増加を行いたい。問題形式を変更しても合否基準の変更はない。

穴埋めは微妙な回答や複数正解が出てしまうため改善した方がよいと考える（皆上）

次回試験から反映させてよいと考える（杉山）

1月学会後、会議不参加の先生方も含めてグーグルフォームにて賛否を問う（古川）

採点作業が早まるため、合格発表が早くなる可能性はあるか（杉山）

早めることは可能（古川）

(2) 症例登録システムの運用について（中川）

症例報告システムの概要と操作説明

現在臨床研究委員会にて最終調整中、その後各専門委員会に公開し、専門の先生にブラッシュアップをしてもらう予定

自分自身のデータがExcelデータで出力可能か（古川）

データのダウンロード機能は実装する予定である。自分自身のデータを閲覧できる、抽出できる機能が実装できるかどうかは検討したい（中川）

例えば卵巣がんなど他の獣医師の腫瘍データとの重複に関してどのように考えるべきか（田川）

公開データとした場合、データの優先順位は付けにくいいため重複データの管理は困難。学会誌や委員会などでデータの定期的な取りまとめをするのも方法であろう（中川）

論文執筆の際、本サイトのデータをコントロールデータとして利用できるのか（古川）

文献データとして扱う、生データとして解析をして利用することは可能であろう（中川）

症例登録を認定医資格のインセンティブや義務とすることを検討してほしい（中川）

Ⅱ種更新要件に加えるのは1つの方法であるが、義務とした場合データの質が低下する懸念がある（皆上）

性善説となるので嘘の入力をしないでほしいが、2種認定医のステップアップのためにも義務として良いのではないか（古川）

登録するものはカルテデータを残してもらい、必要があれば抽出しチェックする場合があるなどと記載をすることで虚偽記載を予防できるであろう（中川）

最初はインセンティブより始め、協力認定証の発行などを行い慣れてきたならば義務化するのが良いと考える（武信）

I種の更新要件として論文があるが、論文の代替として症例登録を更新要件にすることを検討しても良いと考える（皆上）

II種認定医間のレベルの差があるため義務化は反対。実力のある先生も多いため投稿拒絶をするものではない（杉山）

(3) 学識経験者委員の補充について（皆上）

中川先生にご参加いただきたい。

他に推挙できる方がいれば連絡いただき、その後審議を行いたい。

(4) 2種更新要件について（杉山）

4年で4回以上の学会参加が要件であるが救済策として1年の猶予及び、学会発表や雑誌投稿を出席1回と見なすという規定がある。今回、1度も学会に出席していない2種の先生で3つポスター発表を行い、学会参加と合わせて更新を行う先生がいる。今回は認定するが、更新条件をポスター含め学会発表は1回の学会につき1回までと変更することを提案したい。

以下規定変更案

2-2 更新条件（II種）

(2)上記の出席回数に満たない場合、本学会発表（ポスター含む、一回の学会につき一回まで）または本学会雑誌投稿1回を学会出席1回分とみなす。

今回の先生は4年間で1回も学会参加がない。規定には反していないため、倫理上の問題はありますが今回は更新を認めざるを得ない。今後同様の事案があると学会発表が学術目的ではなくなってしまうため杉山先生の案に同意（皆上）

アワード対象になるポスター発表で複数発表する事は認められるのか（古川）

ポスター発表に関して投稿数の規定はない。他学会でもポスター発表の発表制限は通常は無い。複数の投稿は想定外であった（中川）

発表演題数を制限することは難しいが、アワード対象は1演題迄などとする方向で検討したい（皆上）

→賛成多数で2種更新要件の変更を承認

資料1

(1) 第14 回獣医腫瘍科認定医Ⅱ種試験結果

試験実施日：2024 年 10 月 6 日（日）

会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F

- ・受験者数：347 名
- ・欠席者数：23 名
- ・最高得点：753.9 点
- ・最低得点：196.0 点
- ・平均点：564.9 点
- ・標準偏差：114.3 点

【合格基準】

- ・例年同様に、平均点+1 標準偏差および診断学と治療学で地雷問題該当なし

【合格者/合格率】

- ・53 名/15.8%

(参考資料：2013-2023 年までの合格者/合格率は、16-45 名/6.2-15.9%)

認定委員会メール審議を行い、下記の通り、賛成多数で承認された

賛成：36 名（回答 あり）その他の回答のない委員は賛成票とする

反対：0 名

認定医 2 種担当 長田 保坂 五十嵐 高梨 古川

(2) 第14回Ⅰ種一次試験結果

試験実施日：2024 年 10 月 6 日（日）

会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F

出願者：31名

受験者：30名

試験：診断学、治療学各3問合計6問 600点満点

合格基準：全ての問題で平均点以上 地雷問題を踏まない

合格者：8名

(3) 第15回Ⅰ種二次試験

試験実施日：2024 年 10 月 6 日（日）

会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター5F

面接官：皆上 佐々木 小山田 武田 小林 杉山 細谷 高木

出願者 20名（前回25名）

受験者 20名 (前回24名)

欠席者 0名

最高得点 268.5点

最低得点 151.5点

平均点 229.22点

標準偏差 27.31点

面接官審議概要

- ・例年の基準に加え、今回より採用された「全ての試験室において得点が各試験室の平均以上」をすべて満たした受験者1名に関して面接官8名で合否を審議

→ I種認定医にふさわしいという意見で一致した

以上の結果より1名を合格と可決した

合格率：5% (1/20) (昨年16.6%)

認定委員会にて賛成35票、反対0票にて1名の合格が承認された

今後の予定

- ・2月上旬に合格発表、登録申請手続き開始
- ・夏の学会にて認定証授与式実施
- ・第16回 I種二次試験予定

実施日：2025年10月5日 (日)

試験会場：ベルサール新宿グランド コンファレンスセンター